

活動を紹介します！

定例会以外でも所管事務調査を実施しています！

所管事務調査とは、市が行う事業や市が策定する重要な計画などについて、常任委員会が自主的に取り上げ、調査するものです。今回は、定例会で開催される委員会以外で実施された所管事務調査の中で、調査が完了したものをご紹介します。

※当日の中継等をご覧いただく際のデータ通信料はご自身の負担となりますので、ご注意ください。

令和2年7月2日 新上越斎場建設事業について (厚生常任委員会)

今後の斎場施設における将来の方向性を示した「新上越斎場建設事業整備方針」が平成30年12月にまとめられましたが、これを再精査し、施設の機能や規模、整備運営に係る事業方式、概算事業費など、より具体的な事項を示した「新上越斎場建設事業基本構想(案)」について調査を行いました。

問／設計と施工が一括発注となるDB方式では、設計士が市の意向だけでなく、施工業者の意向を反映する形になってしまう可能性が考えられる。設計と施工を別に発注する方式のほうが市民の立場に立った施設にできるのではないか。

答／一番重要なのは炉を長期に維持することであり、かなり難しい技術が必要とされる炉の工事においては、施工業者の技術が生かされるDB方式が最善の方式と考えた。また、工期の短縮やコストの削減も期待できる。

当日の資料↓



当日の中継↓



現在の上越斎場

令和2年11月9日 空き家等対策計画の改定について (農政建設常任委員会)

市では平成28年11月に「上越市空き家等対策計画」を策定し、取組を進めてきましたが、令和2年度末までの計画期間終了後も引き続き対策を実施するため同計画を改定するとしています。これを受け、これまでの取組の検証を踏まえ、改定案について調査を行いました。

問／空き家の予防に関し、居住中から将来的な住宅の処分に備えていただくためには、所有者等への普及啓発の強化や生家への移住の促進は大事な点である。どういった方法を考えているのか。

答／所有者等への啓発として、セミナーの開催や広報誌への掲載を考えている。また、生家を活用する際の補助制度も含めて周知していきたい。

当日の資料↓



当日の中継↓

